

K こくぶんじ観光 まちづくり協会

2025
活動報告資料



シ
テ
ィ
プ
ロ
モ
ー
シ
ヨ
ン
始
動

一般社団法人 こくぶんじ観光まちづくり協会





こくぶんじ観光まちづくり協会を 一般社団法人化しました

会員の皆様、そして、平素から当協会を応援していただいている皆様、大変お世話になっております。深く感謝申し上げます。

さて、当協会は長年任意団体として活動し、国分寺市庁舎内の事務所で市職員が事務局を担ってまいりましたが、昨年2月に法人格を取得し、一般社団法人として再出発いたしました。

その後、事務局スタッフの確保など運営体制を整備するとともに、国分寺市から受託したサイトイー・プロモーション・サイトの構築など新たな事業にも取り組んでまいりました。さらに、本年1月には協会の事務所をおたかの道湧水園にある武蔵国分寺跡資料館の2階に新たに開設し、既に業務を開始しております。

このたび、こうした協会の活動や運営上の重要な事項などについて皆様にご報告するため、定期的に会報を発行することによ

りました。創刊号をお届けいたしますので、是非ご覧いただきたいと思っております。

今後とも、当協会は国分寺市の観光まちづくりに責任を担う団体として、スピード感をもって多彩な事業に取り組んでまいります。皆様方のご支援をお願い申し上げます。

こくぶんじ観光まちづくり協会

会長 松本泰之

こくぶんじ観光まちづくり協会新事務局

〒185-0023
東京都国分寺市西元町 1-13-10
武蔵国分寺跡資料館2階

電話 :042-326-0202
e-mail:info@bunjikanko.com
<https://bunjikanko.com/>

国分寺まつり

市民まつり、商工まつり、農業祭が同時に開催される「国分寺まつり」。2024年度は市政60周年として初の2日間開催となりました。こくぶんじ観光まちづくり協会では、「探そう国分寺のちから！」と題してアンケートを実施し、84名から回答を得ました。今後、アンケートを基に取材を進め、SNSで発信していく予定です。(写真は観光大使・荒川ケンタウロスが協会ブース前で歌声を披露した時の様子)



国分寺・府中観光振興連絡協議会

古くから歴史的なつながりを持つ国分寺市と府中市が連携し、「武蔵国 府中・国分寺」をテーマに、住んでいる方や訪れた方に両市の魅力を知っていただくために活動しています。

小学校の ゲストティーチャー



国分寺市の将来を担っていく子供に国分寺の魅力を伝え、国分寺をもっと好きになってもらうため、学校のゲストティーチャーも積極的に受けています。また、こくぶんじ観光まちづくり協会のさまざまな事業を知ってもらう機会となっています。

2025年3月下旬

シティプロモーションサイトがオープン

国分寺市より国分寺市観光・シティプロモーションサイト構築業務を受託し、実施事業者の選定を終えて3月下旬公開に向けて準備中です。歴史等の観光スポットのデータベースの他、国分寺市内で活躍する人々のインタビュー記事などを掲載予定です。



こくぶんじ観光 まちづくり協会

桜のライトアップ事業

協会のメイン事業ともいえるべき「桜のライトアップ事業」。2024年度は桜開花の時期が大幅に遅れましたが、3月22日～4月7日まで実施し、多くの方が夜桜を楽しめました。土日を中心にキッチンカーも出て、売り上げも好調。また、3月30日に実施した「てのわ桜見幻燈会」のイベントに多くの方が集まりました。2025年の桜のライトアップでは、同時期にJR・立川市・国立市と連携してスタンプリナーを実施する予定です。

国分寺市 観光まちづくり連絡協議会



国分寺市と共催で実施している連絡協議会で、2024年は2回開催しました。出席者も徐々に増え、現在は30団体が参加。国分寺市内で行うイベント等、情報共有の場となっています。

こくベジプロジェクト 検討会議

JA東京むさし国分寺支店・国分寺市商工会・国分寺市とこくぶんじ観光まちづくり協会が「こくベジプロジェクト推進連絡会」をつくり、「こくベジ」を軸とした地域活性化を図るための話し合いを行っています。

地域の担当者が語る
「私のまちのOld meets New」

一般社団法人こくぶんじ観光まちづくり協会

～私たちの仕事～
国分寺市は天平の時代、聖武天皇の詔をうけて「武蔵国分寺」が建立された地といこともあり、昭和54年には国分寺市観光協会が設立されました。それから45年、令和6年に「一般社団法人こくぶんじ観光まちづくり協会」を法人化し、新たな一歩を歩み始めました。国分寺市の活力を高める「観光まちづくり」を推進しています。

Old
国分寺は悠久の歴史をもつまちです。「武蔵国分寺」は奈良時代、聖武天皇の詔により、仏教で国を安定させるために建立されました。古来風水で覆われた地とされる「四神相応の地」に覆われ、車山通武蔵路に接し、湧水のある丘陵（国分寺丘陵）を背にしています。133年の「分倍河原の戦い」で新田義貞の手により焼失したと伝えられ、現在は跡地が公園として整備されています。
最近では桜の花見スポットとしても人気で、毎年、3月下旬から4月上旬にライトアップが行われ、多くの人々に賑わっています。

New
JR西国分寺駅の近くで、古代の幹線道路「車山通武蔵路」の道路跡が、車道より広い歩道の形で保存されています。このOLDなエリア周辺が、今NEWなスポットです。道沿線と都立武蔵国分寺公園に挟まれた場所に、2017年都立多摩図書館、2020年東京都公文書館が開館。2025年1月には国分寺市役所の新庁舎が開庁します。都立多摩図書館には雑誌約1万9000誌が揃っており、人気のパン屋もあります。駅近くには遠方からも足を運ぶ人気のカフェもあり、本とカフェを愛する方から歴史好きまで、僕の深いエリアです。

↑東京観光財団の東京シティガイド検定別冊にも掲載していただきました。

こくぶんじ観光 まちづくり協会



こくベジまつりにて 「こくベジツアー」を主催

国分寺駅ビル35周年記念×国分寺市制施行60周年記念イベントとして、国分寺マルイとセレオ国分寺で「こくベジまつり」を開催。こくぶんじ観光まちづくり協会では、殿ヶ谷戸庭園の協力を得て、「こくベジ弁当」付きのツアーを実施しました。清水農園の清水雄一郎さんにお話をいただき、多くの人にこくベジについても理解を深めていただきました。



東京文化財ウィーク 市内文化財めぐり

国指定重要文化財「木造薬師如来坐像」の年に1度のご開帳に合わせて、市のふるさと文化財課と市内文化財めぐりを実施しました。東山道武蔵路跡、国分寺薬師堂・木造薬師如来坐像、国分寺仁王門、国分寺・国分寺楼門、史跡武蔵国分寺跡、お鷹の道・真姿の池湧水群などを史跡ガイドと共にめぐりました。



歴史講演会

前国分寺市長で、こくぶんじ観光まちづくり協会の顧問でもある星野信夫さんによる「新庁舎・史跡周辺の今昔物語」と題した講演を主催。国家鎮護のため、聖武天皇による国分寺建立の詔から始まり、現代史まで1300年もの国分寺の歴史を一気に語っていただきました。1月には国分寺市学芸員の増井有真さんによる「東山道武蔵路跡」の講演も行いました。

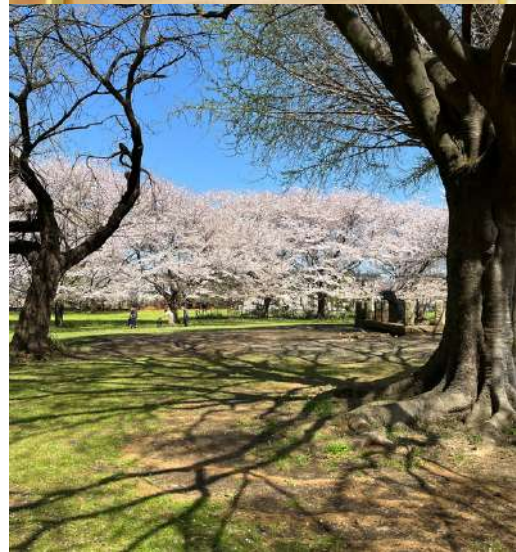


第46回 写真コンテスト

第46回を迎える写真コンテストを実施。今回は写真を応募するだけでなく、「市民大賞」を設けて、人気投票を実施しました。

日立製作所 とのプレツアー

年に2回、一般公開される日立製作所中央研究所の庭園公開日にあわせて、プレツアーを実施。



一般社団法人こくぶんじ観光まちづくり協会では、随時、会員を募集しております。居住地及び所在地を問わずどなたでも入会できます。個人、法人・団体を問いません。会員の種別等は右表のとおりです。是非ご入会ください。

入会ご希望の場合はメールまたは郵送でお申し込みください
【申し込み】

こくぶんじ観光まちづくり協会
bunjikanko@gmail.com

【プレーヤー会員】

協会の運営及び事業執行に直接取組むために入会
法人・団体、個人 1口 10,000円

【サポーター会員】

協会の事業を支援するために入会
法人・団体 1口 5,000円
個人 1口 1,000円

*プレーヤー会員は、法人の社員として、総会での議決権を有します。